

明るく元気の出る町

平成7年12月1日発行・毎月1日 編集・発行/秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがゆり

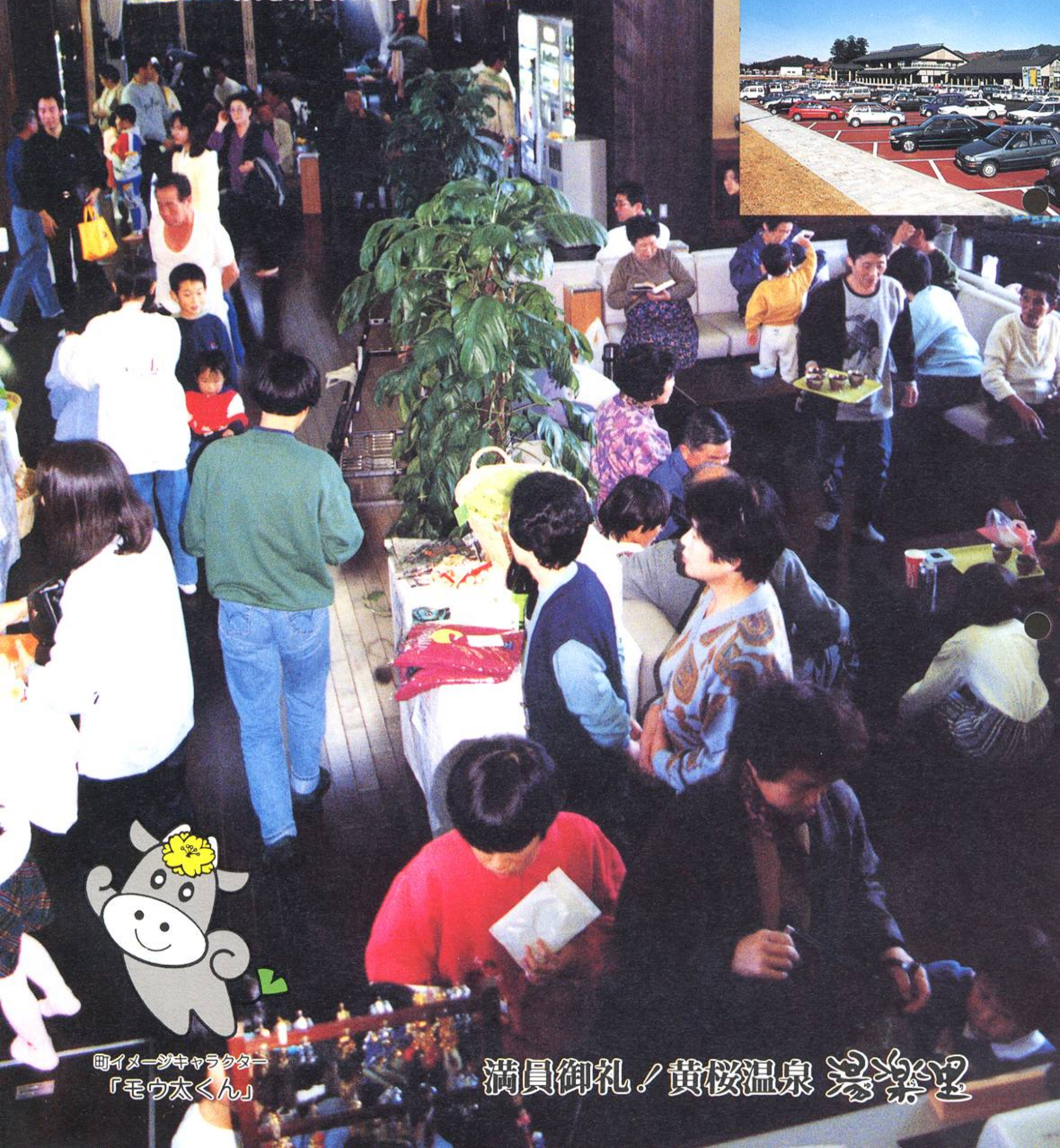
HIGASHIYURI

東由利町

1995

12

NO. 489



町イメージキャラクター
「モウ太くん」

満員御礼! 黄桜温泉 湯楽屋



「湯楽里」・「やしお」 簡易「東由利」 パーキング

竣工

黄桜温泉「湯楽里」とお食事処「やしお」、簡易パーキング「東由利」の竣工式が十一月七日に行われました。

黄桜温泉「湯楽里」

は、鉄筋コンクリ

ート造一部二階建

て、延べ床面積二

千四百八十一平方

メートルで、工事費が

十二億二千五百

万円。一度に五

十人が利用で

きる浴室をは

じめ、百十畳の大広間、三十

畳の中広間、八十二畳の個

室などが備えられています。



お食事処「やしお」は、鉄筋コンクリート平屋建て、延べ床面積が五百二十一平方メートルで工事費が二億七百万円。八

十人が利用できる食事室では、フランス鴨など地元特産品を利用した料理を楽しむことができます。

一方、県が事業主体となり工事を進めていた簡易パーキング「東由利」は、全体面積が八千五百三十平方メートルで事業費が四億五千二百万円。四千

八百七十平方メートルの駐車場には、大型車十八台、小型車三十二台、体の不自由な方が乗車した車が優先的に止まれるスペース三台分が確保されています。このほかには、ファックス、電話、道路情報機能を備えた休憩所やトイレが整備されており、いつでも利用できるよう配慮されています。

簡易パーキング「東由利」駐車場で行われた現地式典には、県、町、工事関係者ら約百五十人が出席。神事後、阿部八男県出納長、阿部幸悦町長、国道107号整備促進期成同盟会長の柳田弘本荘市長らが

テープカットし、完成を祝いました。

健康増進センターで行われた会場式典、祝賀会には、約四百人が出席。最初に阿部町長が「町の活性化拠点と位置づけたこの施設を魅力ある交流拠点として、また本町のアンテナショップとしての機能を十分発揮できるよう管理していく。今日までのご指導、ご援助に深く感謝する」と式辞を述べました。引き続き用地提供者、設計監理、工事施工業者に感謝状が贈られた後、浅野和子さんや浅野竹美さんら梅若会社中の民謡が披露されました。

県内初の温泉付

道の駅「東由利」誕生



県内で
5か所

「道の駅」には、①国や県がお金を出して二十四時間利用可能なパーキング施設を整備したもの

②市町村単独で施設を整備し、①と同等の機能があるものの二種類に分類されます。いずれの場合も建設省への登録が必

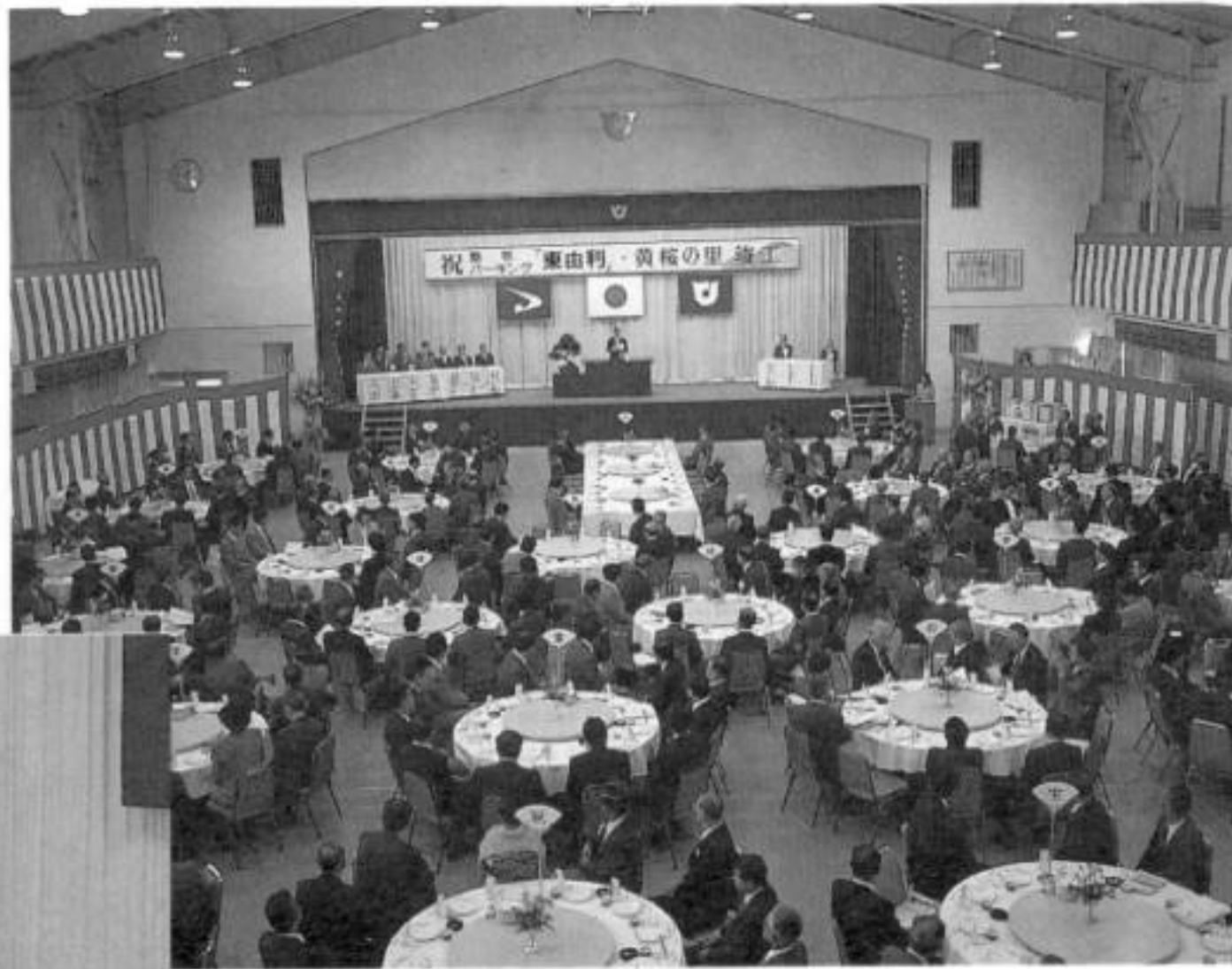
要となります。

本町の道の駅「東由利」は、①の道の駅に該当し、現在登録の申請を行っています。四月には、県内初の「温泉付道の駅」として認定される予定です。

県内で道の駅に登録されているのは、「鷹巣」、「三ツ井」、「西目」、「八森」、「鹿角」の五か所。全国では、十月上旬で二百三十三か所が登録されています。

▲関係者がテープカットして完成を祝った





▲400人が出席した祝賀会



▲東由利音頭を歌う竹美さん



▲となりにあるおやつのお店



▲観光案内板も登場

県立大学誘致のため 本荘由利圏民挙げて運動を！

池田副知事来町 「湯楽里」を視察

池田竹二郎副知事が十一月十三日、オープン間もない黄桜温泉「湯楽里」を視察しました。

池田副知事は、本荘、由利管内視察のため本荘市の工業団地予定地を視察した後、本町入り。三澤忠勝由利地方部長、小山田嘉市由

利地方部副部長らと訪れたものです。

阿部幸悦町長の案内のもと、湯楽里の玄関から施設に入った副知事は、浴室、二階の個室、カラオケルームを視察した後、お食事処「やしお」へ。池田副知事は「天井が高く、風呂も広くてゆったりした雰囲気。『やしお』の天井細工も素晴らしい」と話した後、「この施設を有効に利用し、町の活性化につなげてほしい」と激励しました。



やしおで懇談する池田副知事（写真・右）と阿部町長

今年の道路整備

107号板戸工区

改良路線決定

県道岩館バイパス

国道・県道

久保・板戸間に 2本のトンネル

町には、107号、398号の二本の国道と五本の県道が通っています。

懸案となっている国道107号板戸工区は、久保集落から板戸集落までの二、七三〇メートルで改良工事が行われ、久保橋の架け替えや二本のトンネル工事が主な内容です。一工区（一、二三〇メートル）は板戸側から工事が行われ平成十一年度完成予定、二工区（一、五



▲館合バイパスは今年度で改良工事がほぼ完成

車を唯一の交通手段とする本町では、道路整備は生活環境整備に欠かせないものになっています。

昨年は、国道107号奥ヶ沢工区が完成、今年は、板戸工区の改良路線が示され、来年度から本格着工となるなど、近隣市町村へのアクセス道路が着実に整備されています。

生活に密着している町道、農業振興に欠かせない農道、林業の基盤となる林道の整備状況をお知らせします。



▲国道107号板戸工区の改良路線



▲県道岩館バイパスの改良路線



▲バイパスが完成すれば岩館の急坂対策も解消

また、懸案の岩館バイパスは、十月に地元説明会が行われ、野田集落から横渡集落への路線（延長一、七九〇メートル）が示されました。平成八年度の工事着手を目指して測量作業が進められています。

はこれらの舗装工事と向田、智者鶴集落内の路線が決定されます。



▲羽後向田館合線はいよいよ集落の改良へ

町道・農道

台山線歩道完成 通学も安心

今年度は十一月末現在で町道七路線、農道五路線が整備されました。



▲歩道が完成した台山線

町道では、一昨年から工事が進められていた台山線歩道

設置工事が完成、主に中学校、本庄高校下郷分校生徒の通学の安全が確保されました。また、小倉地区と中の沢地区を結ぶ中の沢線は、一、一六五メートルが整備され、国の追加補正予算等の配分があり、三月末まで全体の八五割に当たる一、四〇〇メートルの改良工事が完成する予定です。来年度で改良工事が完了し、再来年舗装工事が行われ



▲急ピッチで工事が進められる中の沢線

ます。

農道では、昨年からの工事が進められていた宿の桜並木と鳥台線(黒沢・大琴)を結ぶ宿鳥台線が三月末で改良工事が完成、年度中に二〇〇メートルの舗装工事も予定されており、来年度で全線開通の見通しです。

林道

八塩2号改良完成 来年は全線舗装

林業の基盤とも言える林道は、四路線が整備されました。本町と雄物川町を結ぶ県営



▲三ツ森山林道は450mの舗装が完成

林道三ツ森山線は、本町倉地区と茂沢地区の二か所で工事が進められています。今年度は、倉地区から

雄物川町方向に四五〇メートルの改良舗装が完成、茂沢地区では七〇〇メートルの改良工事が行われています。平成九年度の完成に向けて順調に工事が進められています。

ボツメキ水源地和朴ノ木沢放牧場を結ぶ八塩二号線は、



▲改良工事の完成が近い八塩2号線

一、六九九メートルの改良工事が三月末で完成します。来年度舗装工事が行われ、全線開通となります。同路線が完成すれば、平成五年度に完成した八塩一号线と共に八塩一こいの森、朴ノ木沢放牧場、ボツメキ水源地が結ばれることから、周辺の林業振興はもとより、八塩観光にも大きな期待が寄せられています。

順調に進む道路整備

悦

長

記

町

日

幸 部 阿 長 町

十一月七日に竣工した道の駅「東由利」、黄桜温泉「湯楽里」は、始まったばかりではありませんが、国道一〇七号の交流拠点として十分その役割を果たしつつあります。滞留する車のナンバーを見ますと、秋田県以外のものも見られ、私たちの予想を越えた車の流れがあるということです。わが町は、三十一・四十五分の範囲に四つの四万都市があり、合わせて十六万の真ん中に存在

しています。そして秋田空港まで六十分程度。それがわが町の「縄張り」であると申し上げてきましたが、もう少し広がったかな、と思ったりしました。

昨年の十月十三日に竣工した「童画のトンネル」と「銀河トンネル」は、本庄市境の難所を克服、わが町のイメージを一新したといわれています。二、一〇〇メートルありますが、時間では五分、気分では十分の短縮になったといわれています。引き続き横手に向かっての難所も、二本のトンネルを

含む改良工事に向けて、今年からトンネル用のボーリング調査が始まりました。十年以内の完成が予定されています。

県道の整備も順調に進められています。近い将来、国道三九八号として昇格が期待される神岡南外東由利線「岩館バイパス」は、工事概要が地権者の皆さんに説明され、来年度の事業化に向けて測量作業が進められています。仁賀保矢島館合線「館合バイパス」は、来年度には全線開通予定。羽後向田館合線は向田集落を残して前後は今年で改良を終え

る予定です。来年度は集落内をどう通過するか悩む年にしたいということであり、早い決定をお願いしているところです。横手東由利線も「祝沢トンネル」の老朽化が心配されていますが、八、九年度に巻立て工事に対応する意向であります。

このようにわが町の道路整備は着々と進行しており、四つの四万都市の真ん中に存在するとの思いがますます強くなっています。これからもしっかりと努力を続けて参りますので、皆さんのご協力をお願いします。

今年はこのんな年でした



▲まるごと360度フォトコンテストは、加賀谷さん（横手市）の五月晴が最優秀賞に（7月号）



▲わらび座、梅若会社中ジョイント公演（7月号）



本町初の第3セクター(株)黄桜の里誕生（6月号）



▲町イメージソング、東由利新民謡のCD、カセットテープ完成（4月号）



▲東京東由利会総会。町民謡同好会が東由利音頭を披露（6月号）

- 1 6・消防出初式Ⅱ二百三十人参加、三十三人、二団体を表彰（健康増進センター）
17・平成六年度産葉たばこ収納Ⅱ販売総額一億四千五百二十万二千円、十が当たり
平均価格五十八万円（増田町・日本たばこ増田葉たばこ取扱所）
18・町森林組合臨時（合併）総会Ⅱ三月三十一日の広域合併を決議（有鄰館）
- 2 3・第一回和牛生産集団組織コンクール全国大会で佐々木善一郎さん（大琴）が
「改良・増殖部門」で優秀賞（京都市）
4・5・第十一回大平雪まつりⅡ新装なった大平スキー場、三千五百人でにぎわう
12・95バレーボールリーグでポパイスポーツクラブが優勝（健康増進センター）
13・平成六年度秋田県農業賞若い担い手部門優秀賞に小野武志さん（下吹）
14・第十回本荘市由利郡小学校スキー大会で高瀬小男子が総合優勝（鳥海高原矢島
スキー場）
- 3 10・町野菜生産者振興大会Ⅱ六十人出席（有鄰館）
15・町スポーツ栄誉賞、芸術文化奨励賞表彰式Ⅱ十二個人四団体を表彰（有鄰館）
26・第七回婦人シンポジウムⅡ二百五十人参加（有鄰館）
26・第四回県選抜雪上野球東由利大会Ⅱ十チーム参加（勤労者野球場）
▼町イメージソング、東由利新民謡のCD、カセットテープ完成。頒布価格はCD
が千二百円、カセットテープが七百元
- 4 12・平成六年度認定農業者認証式Ⅱ五十六人を認定（有鄰館）
14・株式会社黄桜の里、一般株主六十五人を決定Ⅱ申し込み者百六十七人
23・農業委員選挙執行Ⅱ十人当選（うち新人三人）、投票率九三・五二パーセント
23・蔵地区で大防火防止訓練Ⅱ三百人参加
- 5 1・役場の電話が各課直通に
6・21・第十一回黄桜まつりⅡ史上最高の三万二千人でにぎわう、ペダルボートが
大好評
9・農業委員会長に鈴木和夫氏を再選
20・株式会社黄桜の里創立総会Ⅱ代表取締役阿部幸悦町長を選任（有鄰館）
21・東京東由利会総会Ⅱ百四十人出席、町民謡同好会が東由利音頭を披露（東京都
北区・赤羽会館）
28・第十七回八塩登山Ⅱ七十人参加（八塩山）
- 6 1・株式会社黄桜の里業務開始Ⅱ仮事務所を設置し、幹部社員に辞令交付。支配人
には佐藤正剛氏就任
4・合併四十周年記念・わらび座、梅若会社中ジョイント公演Ⅱ七百人参観
9・本町消防団が都市水防訓練大会で第一位（本荘市）
13・第四十回町畜産共進会Ⅱ五十二頭出陳（畜産広場）
14・第三十一回本荘市由利地区身体障害者体育大会Ⅱ七百人余りが参加（町民グラウ
ンド）
15・合併四十周年記念・東由利まるごと360度フォトコンテスト審査会Ⅱ一枚写
真の部に六十四点、組写真の部に九点の応募。最優秀賞に加賀谷さん（横手市）の
五月晴（有鄰館）



▲本荘由利地区身体障害者体育大会を町民グラウンドで開催。700人余りが参加（7月号）



▲英語指導助手としてグローバル・ミッシェルさん着任（9月号）



▲黄桜の里竣工（12月号）



▲郡市消防訓練大会を町民グラウンドで開催。ハイレベルの競技を展開（9月号）



▲戦後50年を偲ぶ会（9月号）



▲町長選挙で阿部町長が再選。町職員らに迎えられて初登庁（9月号）

11

- 1・町のエコーはがき完成
- 3・5・第九回町産業文化祭Ⅱ五千人でにぎわう
- 7・簡易パーキング「東由利」・黄桜の里竣工式Ⅱ四百人出席

10

- 1・助役に小松久男氏就任Ⅱ二期目
- 9・湯沢家畜市場と由利家畜市場が統合、広域由利家畜市場にⅡ本町からは五十四頭が上場され、平均価格三十七万二千四百八十九円
- 22・東光苑文化祭Ⅱ二百人でにぎわう
- 23・町指定天然記念物に祝沢のみずならとさるなしか二点
- 29・第三回東由利音楽祭Ⅱ三百五十人参加

9

- 1・株式会社黄桜の里入社式
- 1・平成七年度認定農業者に三十一人
- 10・第二回秋季選抜野球大会Ⅱポパイスポーツクラブが初優勝（勤労者野球場）
- 11・五十人委員会・メンバーを交替
- 14・合同金婚式Ⅱ十二組をご招待（有鄰館）
- 20・第十九回全県野焼きを楽しむ集いⅡ百二十人参加（八塩いこいの森）

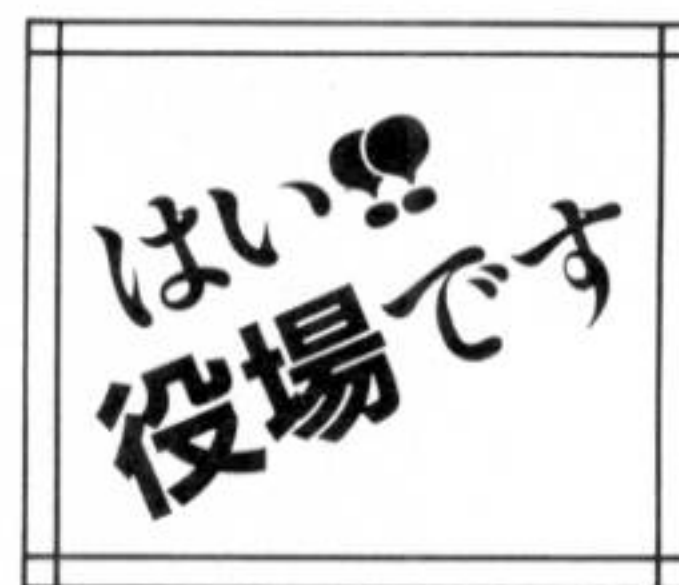
8

- 2・英語指導助手としてグローバル・ミッシェルさん着任
 - 12・お食事処「やしお」メニュー試食会Ⅱさすがプロの腕前と好評
 - 14・玉米青年会が宝くじ助成で祭り用具を購入
 - 15・町成人式Ⅱ七十三人が大人の仲間入り（有鄰館）
 - 19・町長選挙執行Ⅱ阿部幸悦町長再選、投票率九四・三六％
 - 22・町戦没者追悼式Ⅱ三百十二柱の霊に献花（有鄰館）
 - 22・戦後五十年を偲ぶ会Ⅱ玉米、下郷両遺族会主催、百五十人出席（有鄰館）
 - 23・第三十七回町社会人野球大会Ⅱポパイスポーツクラブが優勝（勤労者野球場）
- ▼宿地区の石沢川が建設省のラブリバー制度で認定

7

- 1・第十五回全日本学童軟式野球秋田県大会に高瀬小が出場、八橋小と対戦し三対十で惜敗（天王町・湖岸球場）
- 9・第一回家庭料理コンテストⅡ四十三点の応募（有鄰館）
- 16・町消防訓練大会Ⅱ二百五十人参加、第三分団が総合初優勝（町民グラウンド）
- 22・東光苑・永慶保育園合同夏まつりⅡ千二百人でにぎわう（東光苑前広場）
- 30・本荘高校下郷分校に厚生大臣感謝状Ⅱ献血実績に高い評価
- 30・本荘市由利郡消防訓練大会Ⅱ市郡内の代表がハイレベルの競技を展開（町民グラウンド）
- 31・第四回ナイター野球Ⅱモンスターズが初優勝（勤労者野球場）

- 18・第二十二回本荘市由利郡小学校野球大会で高瀬小が準優勝Ⅱ二年連続県大会出場
- 21・認定農業者協議会設立Ⅱ会長に畑山吉基氏（老方館）
- 21・23・敬老会Ⅱ四百四十一人出席（有鄰館）
- 28・佐々木喜久治県知事来町Ⅱ八十人と懇談（有鄰館）



平成6年度

一人当たり55万8千円の医療費

自分の主治医を持とう

三級の人は六十五歳以上の人が該当するもので、十月一日現在で九百三十七人が対象となっています。

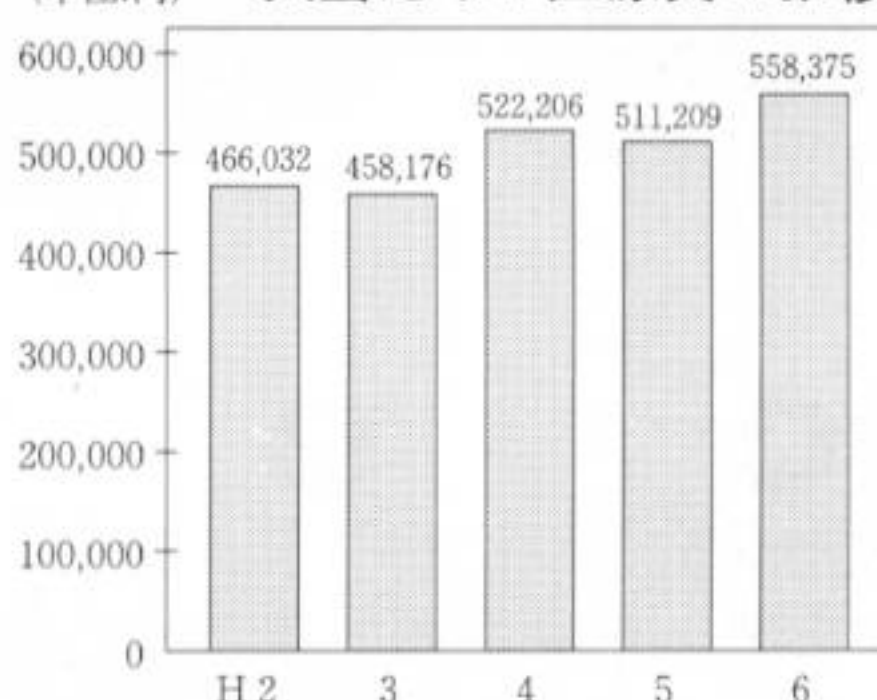
この結果について町福祉課では「同じ病気で何か所もの病院をわたり歩くハシゴ受診を無くすためにも自分の主治医を持って、医療費のむだを無くすよう一人ひとりが心掛けてほしい」と話しています。

また、通院する日数が一月

老人保健の総医療費は、ここ数年わずかながら増加傾向にあります。疾病別では、血圧、心臓などの循環器系が多く、次いで、胃や腸などの消化器系、新生物と続いています。

平成六年度の町老人保健概要によると入院、通院、歯科などの一人当たり総医療費が五十五万八千三百七十五円（通院などの場合の一部負担金含む）、県内六十九市町村中、五十二位、本荘由利地域では五番目でした。

（単位：円）一人当たりの医療費の推移



町功労者（元収入役）

小野丹左衛門氏に勲五等瑞宝章

町功労者で元収入役の小野丹左衛門氏が勲五等瑞宝章の榮譽を受けられました。



小野氏は昭和二十年下郷村役場に奉職し、昭和三十八年からは税務課長として十二年間行政事務の中核を担い、昭和五十年には収入役に選任され三期十二年在任、通算四十二年余りの間を多難な地方自治の推進に尽力されました。

この間、温厚な中にも仕事に対しては厳しい姿勢を貫き、町民の信頼も厚く、税務課長の昭和四十年には、長年の懸案だった村税完納を実現。以来今日まで三十年余の連続完納の基礎をつくり、町財政の円滑な運営に貢献されました。昨年、町の功労者に選ばれています。

戸籍手数料が変わります

— 平成8年1月1日から —

申請内容	改定額	現行
①戸籍の謄抄本	1通 450円	400円
②除籍の謄抄本	1通 750円	700円
③戸籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件 350円	300円

戸籍謄本、抄本などの証明手数料が平成八年一月一日から改正になります。主なものは次表のとおりです。

黄桜温泉
湯楽里



株式会社
黄桜の里

お食事処
やしお

十一月九日オープンした黄桜温泉「湯楽里」は、オープン一週間で入浴者数五千人を突破、十一月二十六日で、一万人を超える入浴者数を記録

しました。

十一月九日のオープンでは、黄桜温泉にあやかっって「清酒黄桜」が振る舞われたほか来場記念品がプレゼントされま

した。さらに、フランス鴨生産組合やJA東由利婦人部などが応援に駆けつけ、特産品を販売、入場者から好評を得ていました。

土、日曜日は、駐車場が満車となる盛況ぶり、で、「湯楽里」の大広間は休憩する人でいっぱい。「やしお」の食事室では、順番待ちの列ができるほどで、同社ではうれしい悲鳴をあげています。また、簡易パーキング「東由利」休



▲老方郵便局も応援

お年寄りまで幅広い人気があります。

一月には、黄桜温泉「湯楽里」あての年賀状やユニークな年賀状を展示する「あけましておめでとう企画」なども準備しています。問い合わせは株式会社黄桜の里総務課（東由利町老方字畑田二八、☎69-2611）まで。



▲好評だったフランス鴨の試食

入場者数1万人を突破 土、日、祝日は大にぎわい

「事前に研修をしているもの

の本番での対応は全然大丈夫。きつい事も多いが、笑顔の対応」をモットーに全員頑張っ

ている」と話す社員。

施設の顔とも言えるべきフロントでは、主に二人の女性が応対しています。チケットの販売をはじめ、宴会などの予約業務、電話の応対などがフロントの仕事。「忙しくなると何がなんだかわからなくなる。でも不快な感じを与えないよう心掛けています」と接客業への戸惑いを見せながらも精一杯頑張っています。

施設の営業時間は午前九時から午後九時まで。ただし、「やしお」での食事は、午前十一時からラストオーダーが午後八時三十分となっています。



▲お昼時はほぼ満席のお食事処「やしお」

笑顔の接客を モットーに



▲笑顔でお客さんをご案内

フランス鴨ラーメンが好評の「やしお」では、四人が和

「ふるさとの歌」熱唱

東由利音楽祭



▲「海の朝」、「風」を合唱する子供たち

町を代表する小松耕輔、三樹三、平五郎、清の四兄弟を顕彰した「東由利音楽祭」が十月二十九日、東由利中学校体育館で行われました。

音楽祭は、四兄弟の業績をしのぼうと「小松兄弟音楽顕彰会」の主催で始められたもので、今年からは町が主催。町内の小中学校児童、生徒、本町の「コール黄桜」、「コールゆりり」をはじめ、近隣四市町のコーラスサークルなど約三百五十人が参加しました。

東由利中学校吹奏楽部の演奏で幕を開け、第一部で児童、生徒たちは「海の朝」、「風」



▲町イメージソングを発表するコール黄桜

などの耕輔作曲の歌を披露。第二部の各コーラスサークルの発表では、本町のコール黄桜による町のイメージソング「きつとやさしい心になれるから」を皮切りに「母」、「芭蕉」、「子猿の酒買い」、「ばあやのお里」、「かじやの歌」といった耕輔、平五郎の代表作などが発表されました。

最後に、本荘市由利郡コー

ラスグループ交流会の豊島重

孝顧問が耕輔作曲の「おはよ

う」、「一番星」の二曲の前後

に曲を付け編曲した「東由利

町賛歌」を出演者全員で合唱。

出演者や観客は郷土が生んだ

音楽家たちの功績をたたえて

いました。

担い手問題に活発な議論

町農業者大会

町農業者大会が十一月四日、有鄰館で行われ、農業者約百二十人が出席しました。

同大会は、本町農業の方向性を学習しようという行われたもので、最初に秋田県農業短期大学農村生活学科の青木辰司助教授が基調講演。この中で青木助教授は「農業は一次産業と位置づけられているが、今後は、福祉、文化、観光など多面的な結びつきが重視される。特に中山間



▲約120人が参加した農業者大会

地帯では、農地の流動化をはじめ①コスト低減、品質の均一化を図る技術②企業の経営③産直等の販売戦略④信念、発想力⑤の四つが必要とされる時代になっている。意欲を持つて何事も前向きに取り組んでほしい」と参加者を激励しました。

引き続き、秋田県農業会議の佐藤良悦農政振興部長をコーディネーターに、小野明子さん（蔵新田）、畑山吉基さん（館合新田）、小野武志さん（下吹）、阿部幸悦町長の四氏がパネリストを務めたパネルディスカッションが行われ、担い手問題を中心に活発な意見交換が行われました。

東北郵政局から表彰状

大琴小子ども郵便局

大琴小の子供たちが運営している「子供郵便局」が日ごろの活動内容が評価され、東北郵政局から表彰されました。



▲子供郵便局を運営している子供たち

同小では、毎月貯金日を定め、五、六年生の六人が集まり子供郵便局専用通帳への記帳のほか、台帳を整備するなど子供たち自身で同郵便局を運営。このほか、貯金箱や作文のコンクールに参加するなど、積極的な活動が高く評価され、今回の受賞にいたったものです。

同小子供郵便局と密接な係わりのある宿郵便局の須藤満局長は「子供たちの一生懸命な頑張りとPTAや学校が一体となって取り組んだ成果であり、とても感謝している。今後も一層の協力をお願いしたい」と話しています。



第9回町産業文化祭 5,000人でにぎわう



▲農家の力作が展示された健康増進センター

第九回東由利町産業文化祭が十一月三、四、五日の三日間、健康増進センター、有鄰館、朋楽荘などで行われ、肌寒いあいにくの天気にもかかわらず五千余人でにぎわいました。

入賞者一覧 (敬称略)

【一般展示物・町長賞授賞者】

《畑作物》工藤正悦 (中ノ沢)
《花き》佐々木精人 (大琴) 《果実・林産》小松和美 (新町) 《農産加工》小松チヨ (須郷田) 《葉たばこ》小松久子 (館合新田)
《その他》伊東隆悦 (蔵新田) 《山菜料理》館合新田婦人部
【老人作品展・金賞】
《野菜》小松茂 (新町) 佐藤イト (新町)
ヨ(十二ノ前) 《穀類》小松忠蔵 (山崎) 遠藤三代治 (小倉) 《工芸品》佐々木藤喜 (大琴) 阿部成雄 (桂台) 《盆栽》佐々木進 (大琴) 小松茂 (新町) 《果実酒・食品加工》佐藤ツルヨ (家ノ下) 遠藤オキヨ (新処) 《手芸・和服》佐藤貞 (下小路) 小松メサコ (同) 《造花》小松キン (八日町) 小松美代子 (舟木) 《ちぎり絵・はり絵》畑山マサエ (島) 《果実》小松茂 (新町)



頑張りました東中生

作文・弁論で表彰

東由利中学校の五人の生徒が作文、弁論で表彰されました。

第十二回本荘地区中学校防火弁論大会では防火の部で梅津かおりさん (三年) が最優秀賞を受賞。中学生の税に関する作文では、小松恵里子さん (二年) が県納税貯蓄組合連合会長賞、佐藤綾さん (二年) が本荘税務署長賞を受賞しました。

また、全国中学生人権作文コンテスト秋田県大会では、佐藤泰子さん (一年) が優秀賞を、木島さとみさん (三年) が奨励賞を受賞しました。

このうち、弁論大会で最優秀賞を受賞した梅津さんは、昭和二十九年五月十九日の大琴大火の教訓を生かし、地区の人たちの夜まわりなどを紹介。地域一丸となって防火に取り組み安心して暮らせる町を増やして行こうと呼びかけました。

鯉8000を放流

子吉川水系漁協

高瀬川漁族保護組合と河川愛護協会は十月二十七日、町内三小学校と協力して高瀬川に鯉八百を放流しました。子供たちは、魚がびっくりしないよう気遣いながら放流していました。



▲鯉を放流する子供たち

高齢化社会を考えよう

福祉を高める集い

高齢化社会での福祉の大切さを考えようと十一月十七日、福祉を高める集いが有鄰館で行われました。参加した二百人は、子供たちの意見発表を聞きながら福祉の大切さを実感していました。



▲200人が参加した集い

高村地区に朗報

郵便が毎日配達に

二、三日に一回の割合で郵便物が配達されていた高村、滝の下地区が十二月一日から毎日郵便物が配達されることになりました。

高村地区では、生活に欠かすことのできない郵便物を毎日、確実に受け取ることができるようになり、喜んでいます。

HIGASHIYURI

東由利の話題

TOPICS

町の宝もの

44

弁天島の大杉（新町）

弁天島の大杉をクリスマスツリーにして、「弁天島はたるの会（高橋賢太郎会長）」が四百余个の灯で飾るのも今年で五年目。地域や道行く人々の目を楽しませ、この季節の風物詩として親しまれています。

クリスマスツリーとして利用されている大杉は二本あり、うち一本は地上約三メートルの所で三本に分れています。目通りの周囲は太い木で四・八メートル、細い木



（文・畑山昭二）

でも二・七メートル。樹高は二本とも二八・五メートルで、樹齢は三百年以上と思われる。

元和九年（一六二二）新町つつみを築いた古文書がありますが、弁天島は古くは現在より広い湿地帯の中にあつたようで、杉の近くの祠に弁天様と竜神様が合祀されています。

業り 林だ 低迷する木材市況

スギ原木の動きは、例年であれば八月下旬から盛り上がり十月にピークと成って十一月まで続くのですが、今年は九月にピークとなり十月には動きが鈍くなりました。

九月のスギ原木市場価格は、本荘由利木材流通センターの木材市況情報によりますと、樹齢四十年生から五十年生、長さ二・六五メートル、径級一四センチから二二センチの平均価格が石当たり六、三九〇

円、径級二四センチから二八センチが六、四七〇円です。これが十月には一〇〇円から二〇〇円の値下がりとなっています。一方、製材品市況は、長引く売行き不振から供給過剰が目立ち、市売市場の安値が続くとみられています。

この低迷の原因として、新設住宅着工数が前年比一〇％も落ち込んでいることと阪神大震災以降の木造住宅離れや外材輸入の増加などがあげられます。このような弱含み傾向はしばらく続くものと予測されます。

（町林業懇話会長 佐藤恒悦）

美しきもの

健康であるということは心にも体にも最も大事なことで、とても素晴らしいことだと思ふ。生理的にも、機能的にも、また外観的にも全く健康であることは、何物にも替えがたい宝である。

私も自分が健康でありたいという願望はいつも持ってはいるが、それとは裏腹に、私たちの生活の日々には、不健康な作用や所作のいかに多いことか。その度に省みて正すべきであるのに、一向に反省に結びつかない。

さてテレビを見てみると随分と多くの人々の情態を見ることができ

アナウンサーという仕

事は生活的（時間的）にはかなり苛酷であると思ふのだが、画像からうける印象はまことに健康そうである。また、コマーシャルに登場する俳優、歌手、スポーツマン、モデル、有名人等々いろいろだが、これらの人々も一見して健康そのものであり、うらやましい限りである。

総体的に見て健康であるという人は実に美しく見える。それは着衣や髪型やプロポーションではない。機敏な身のこなし、目の輝き、歯切れのよい言葉、そしてキラッと光る白い歯、実に魅力的である。特に歯は常々見えてい

るものではない。それだけに一瞬のひらめく輝きは、確かに美しい。

（町保健対策推進協議会長

小松順之助）

歯 なんて ないもん。

2歳児健診より

（ ）内は保護者

の 歯 けんこう



伊東昇真くん
高村（清美さん）



遠藤朱莉ちゃん
五海保（優さん）



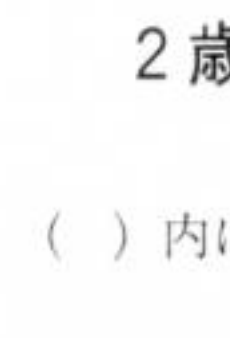
小野涼太くん
須郷田（久一さん）



横山孝明くん
泡ノ淵（廣秋さん）



鈴木美徳ちゃん
袖山（徳之さん）



森川貴代美ちゃん
横小路（由高さん）



根田和真くん
田代（和春さん）



小野咲奈ちゃん
新町（孝悦さん）



伊東 翼ちゃん
蔵新田（勝宏さん）



渡辺知恵里ちゃん
館合新田（要さん）



佐藤裕太くん
黒淵（一廣さん）



長谷山瑛子ちゃん
湯出野（和幸さん）



畠山勇人くん
茂沢（明さん）



小松 遥ちゃん
新町（茂穂さん）



小松順之助

頑張れ！優子さん

第7回全国高校女子駅伝競走大会の県予選（10月29日・大潟村）で、本荘高校優勝の原動力となった大庭優子さん（舟木）。12月24日の全国大会に向けて猛練習中の彼女にインタビュー。



▲昨年の全国大会で花の1区を力走する優子さん（右から2人目）。今年はこれ以上の力走を期待したい

いきいきクロースアップ

自分に厳しく、精神面を強化 昨年を上回る成績が目標

中学三年の時、本荘高校が女子駅伝県予選で優勝したテレビを見て同校に進学を決意、長距離ランナーとして第一歩を踏み出した優子さん。一年生の時は故障で悩まされたものの、二年生から頭角を表し、昨年は全国大会で花の一区（6区）を担当。今年の県予選では、二区（4・0975km）を力走し、13分57秒の区間新記録をマークしました。「県予選では、選手一人ひとりに甘さがあり決して満足できるタイムではなかった。自分にもっと厳しく、



▲1区の藤川選手からたすきを受けとる優子さん。この時点で本荘高校は独走態勢（高校駅伝県予選）

精神面を強化しないと全国では通用しない。全国大会では昨年の35位を上回るのが目標」と厳しい評価をする優子さん。同校陸上部の大友貴弘監督がいつも口にして、「前に相手がいないでも頑張れる。見えない敵に勝てる選手」を目指して、水林陸上競技場や子吉地区を中心に走り込みの毎日が続いています。

駅伝では、誰がどの区間を走るかが大きなポイント。高校女子の駅伝は、一区6km、二区4・0975km、三区四区が3km、五区5kmでフルマラソンの半分に当たる21・0975kmを走ります。優さんは「誰がどこをまかされるかわからない」と話ながらも「全国大会は、ベストの体調で精一杯走ります」ときっぱり。十二月二十四日の京都・都大路での力走に期待したいものです。

積極性、精神力で大きな収穫 将来は指導者として期待

「長距離は走って行くうちにどんどん苦しくなり、何回も自分と戦う。それを乗り切った時が最高の気分。精神的に前向きに考えられるようになったし、根性がついた」と魅力を話す彼女。大友監督は「主将としてチームを引っ張り、とてもたよりになる選手。責任感があり、何事にも積極的に立ち向かう強い精神力を持っている。将来は指導者として大きな期待が持てる」と彼女の将来性を高く評価しています。最後に優子さんから東田利中の後輩たちにメッセージ。

「高校の部活動は自分にとって大きな収穫になることが多い。陸上を目指している人がいたらぜひ本高陸上部で頑張ってもらいたい」。



▲本荘高校陸上部女子駅伝チームのメンバー（写真前列左端が優子さん）



わが家の
アイドル☆

下小屋・佐藤 麗花ちゃん
(H6・10・19生まれ)
お父さん・悦 郎さん
お母さん・由美子さん

「寒くなってきたので、家の中でおもちゃ遊びの毎日。元気な子に育ってほしい」とひいおばあさんのユウヨさん。

★ステキな写真盾が当たる★

広報クイズ

どんどん応募してね

問 11月号の表紙の写真に登場したのは、どこの小学校の子供たち？

- ①大琴小 ②高瀬小 ③八塩小
(ヒントは先月号にあり)

▼官製はがきに答え、応募者の住所・氏名・年齢のほか身近な話題など、なんでも結構ですので、書いてお出してください。▼宛先／東由利町老方 東由利町役場広報係宛▼締切／12月15日(当日消印有効)▼正解者の中から抽選で5人の方に写真盾をプレゼント。

▼先月の正解は①150円でした。応募してくれたのは、佐々木賢さん(大琴)、村越栄子さん(埼玉県)の二人。写真盾をプレゼントしました。応募ありがとうございました。たくさんの応募まってます。



高橋栄樹さん
(須郷・19歳)

本荘市・ホテルアイリス勤務
血液型・A型

「小さいころから料理が好きで、家の台所で遊ぶのが好きだった」と話す彼は、ホテルアイリスの料理人。九人で洋食、和食を調理しており、彼は和食担当。十一月以降は、結婚式や忘、新年会などの宴会が多
く、「結婚式が一日に三件も入ると厨房はパニック状態」になるなど、忙しい毎日を過ごしています。勤務時間が不規則で朝一番は

午前六時から。「朝早いときは、遅刻することあり大変」としながらも「調理師の免許もあり、手に職を付けた以上、将来的にも料理部門を続けて行きたい」と意欲的な栄樹さん。休みの日は、家の手伝いやドライブなどを楽しんでいます。

「みんなからあてにされる料理人になりたい。これだからお前にまかせる」と言われるように頑張りたい」と来年の抱負を話す好青年の栄樹さん。最近オープンした黄桜温泉「湯楽里」には、本町田代出身で和食部門の親方とともに大きな期待を寄せています。

次は、株式会社黄桜の里に勤務している大日向昌幸くんにリレーします。

東由利の文芸

せせらぎ句会(十一月句会)

こがらしや古びし父の戦陣記
初時雨着替ももたぬ菩薩像
とろろ擦る向うに孫の膝頭
凧や下校の話散らしけり
黄落やひとしきりまたひとしきり
野菜掘る鍬の柄伝う初時雨
安全旗ゆるる工事場冬ざるる
大枯野一刻焼けてたそがるる
風呂吹きをことばで吹いて子に渡す

嶽石 レイ(五海保)
高橋ヒデ子(横渡)
小松順之助(中通)
小野石路子(上里)
大庭喜右エ門(舟木)
遠藤トミ子(小倉)
小笠原亮子(蔵新田)
小松 女沙(下小路)
阿部 澄子(蔵)

陽だまりの山茶花の垣やわらかき
天気図の動きて道のみぞれかな
木枯しを又響かせて村社
頬の艶よろしき老の置火燵
出稼にたつ日早める北の風
山嵐伽藍に眠る濡れ落葉
秋雷のとどろき止まず峡間の夜
雪吊りや庭に咲かせた縄の花
冬立つや路地巻込みて歩をみだす
逆緑の墓石にチチロ鳴き止まず
雀宿藁を付け足す冬かこい
初時雨旧友の便りの届きけり

小松 忠正(下通)
嵯峨 義之(中通)
小松 徳蔵(湯出野)
菊地 常作(湯出野)
阿部 俊子(横渡)
阿部 ナミ(蔵)
高橋民治郎(袖山)
佐藤 正義(湯出野)
小野 貞子(蔵新田)
小笠原トミ(蔵新田)
工藤 武雄(山崎)
小松慶治郎(高戸屋)



永慶保育園

おのたかひとくん
(上里)



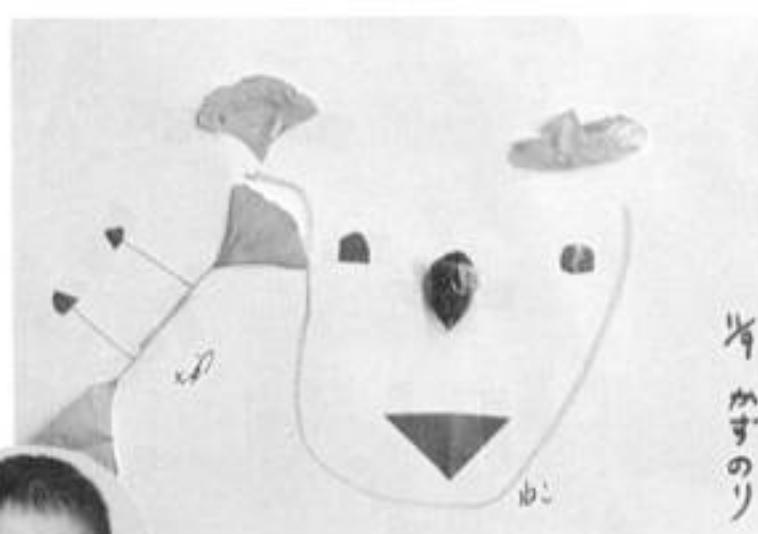
こまつけいちゃん
(十二ノ前)



おちばの
はりえ
ぼくの絵
わたしの絵



あべたかなりくん
(大琴)



はたやまかずのりくん
(下吹)



やま 塩 かわ 瀬 八と高の自然に学ぶ

東由利中
①

動物の分布状況

蛍はほぼ全域に生息

東由利中では、環境教育の一環として①動物の分布状況②川の水質調査③酸性雨の状況を全町的に調査しました。シリーズで紹介します。

動物の生息調査は、全校生徒二百四十三人が夏休みを利用して蛍のほかタヌキ、カモシカ、クマなど二十五種類の動物聞き取り調査しました。

生徒たちは「聞き取り調査なので、山間部の状況はよくわからない」としながらも①蛍や野生の動物が多く見られ、自然の豊かさを実感②昔



▲都市理科研究発表会



▲蛍の生息状況

見られて今見られない動物もあり、動物たちの環境に変化が出ているなどとまとめていました。この結果は、本荘市由利郡児童生徒理科研究発表会で発表され、優秀賞を受賞しています。主な調査結果は次のとおり。

- ▼蛍Ⅱ全域に生息▼タヌキⅡ山間部に多い▼カモシカⅡ北東部に分布▼クマⅡ東側の山間部に分布▼イタチⅡ町全体にまばら
- ▼ムササビⅡ中心よりやや東▼フクロウⅡ南北の山間部

ハイスクール○日記

キャプテンとして



下郷分校バドミントン部
八嶋奈穂子さん

三年生の先輩たちからバドミントン部を引き継いで、約四か月が経とうとしています。今思うと、本当に私たちだけでやっていけるのだろうかと思つことが度々ありました。今でも私がキャプテンとしてやっているのが不思議なくらいです。でも、キャプテンという仕事を引き受けたのだから、最後まで、やり遂げたいと思っています。

現在、部員は私を含めて二年生の二人しかいません。ですから、団体戦ができません。また、練習も単調になりがちです。先輩たちがいたときは、そんなことは少しも考えませんでした。今は違います。人数が少ない分、なんとか工夫していかなくてはならないと思っています。そして、来年入ってくる一年生にバドミントンの良さを伝え、できるだけ部員を増やすよう頑張りたいと思います。

12月→データ東由利

(10/1~10/31)

人口 () は前月比

■男	2,680人 (△3)
■女	2,816人 (1)
■計	5,496人 (△2)
■世帯数	1,411戸 (1)

() は1月からの累計

・出生	3人(30)	・死亡	4人(53)
・転入	9人(83)	・転出	10人(91)

■火災出動	0件(1)
■救急出動	10件(99)
■交通事故	3件(19)
・死亡	0人(1)
・傷者	4人(14)
■飲酒運転	0人(1)
■酒気帯び	0人(0)

カレンダー 12月の行事

- 4 家庭バレーボール交流大会 (毎週月、木曜日・1月下旬まで、健康増進センター)
- 14 12月定例議会
- 16 文化講演会 (講師・山谷初男氏、13:30~有鄰館)
- 22 大平スキー場開き
- 22 東光苑クリスマス会
- 24 第4回高橋宏幸賞授賞式
- 25 小、中学校2学期終業式

東由利

郷土の野草

No.130



北アメリカ原産といわれる帰化植物で、日当たりのよい河原や野原、路傍に自生する雌雄同株(雄花は上部に下向きに、雌花は下の葉のわきに)の一年草です。最近本町でも急に目につくようになりました(写真は役場の裏の川の土手で)。茎は高さ三〇〜二〇〇センチ以上にもなります。葉は初めはやわらかく、ヨモギの葉に似ていますが、二〜三回羽状に裂け上部は互生、下部は対生します。花は淡黄色で花期は花粉を飛ばし、花粉症をおこしたりする厄介な草です。

ブタクサ

(キク科)

文・写真 小松忠正

戸籍の窓口

(10/21~11/20届出)

●お誕生おめでとう

小松 詩歩ちゃん (重文) 山崎美奈子

遠藤 せりちゃん (優子) 五海保

高橋 こはるちゃん (敦子) 宇戸坂

●ご結婚おめでとう

阿部 淳さん (新町) 浅子 優姫恵さん (大宮市)

小松 仁さん (家ノ下) 高橋 悦子さん (十字町)

●ごめい福をお祈りいたします

小野タミエさん (82・厚・義母) 寺田

カラー
スナップ

黄桜温泉「湯楽里」



写真はオープン間もない黄桜温泉「湯楽里」を上空から撮影したもの。匿名の方から送られてきました。ありがとうございます。

まごころ

町社会福祉協議会に、小松重二郎さん(山崎)、佐々木正安さん(大琴)、小野厚さん(寺田)からご芳志が届けられました。

広報送付の謝礼として、莊野敏雄さん(横須賀市在住、下小路出身)、畠山泰蔵さん(秋田市在住、袖山出身)、横山源之助さん(千葉市在住、智者鶴出身)、横山松蔵さん(同・同)、佐々木眞子さん(本荘市在住、大琴出身)、板垣千賀子さん(同・同)から金一封が届けられました。

ほっと
ひといき

十一月七日の黄桜の里竣工式は、前日の雷雨がウソのように晴れ上がりました。せめて現地式典だけは雨が降らないようにと心配したのも、取り越し苦労に終わってまずほっとひといき。次の日が大荒れの天気だっただけに、前後一日ずれていればどうなっていたことか。年度当初に「十一月上旬の大安の日」と決め、七日と公表したのは六月ころ。「こんなにうまく行くこともあるのか」と思っているところに同僚の「日頃の行いが良かったからだ」の一言。最高のスタートを切ったこの施設がずっと順調でありますようにと願った十一月でした。